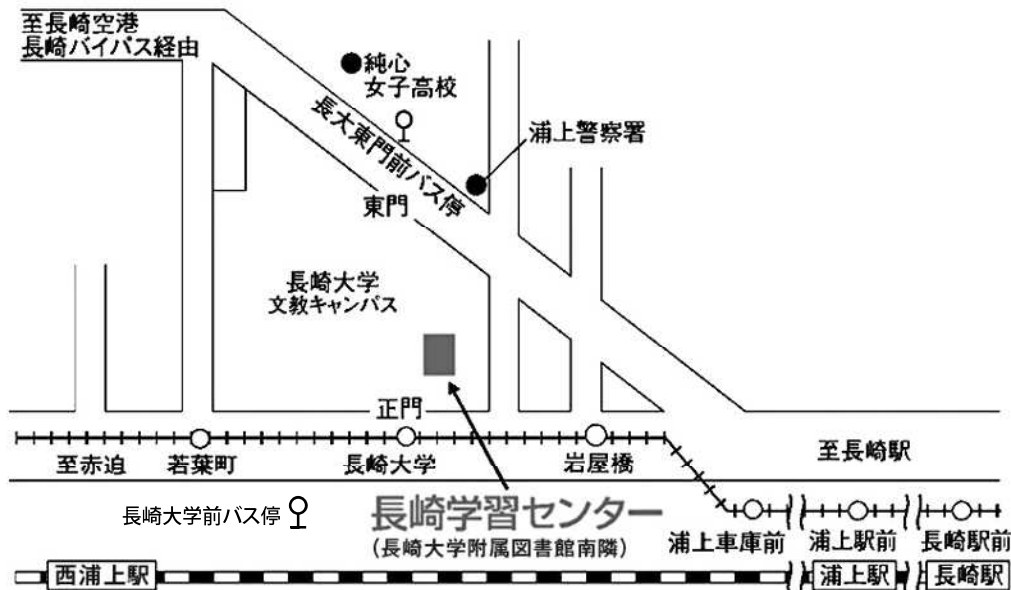


長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図 ☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業で使用する教科書は販売しておりません。

各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。

科目コード	2668777	授 業 概 要	【授業内容】 心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験に実験者及び参加者（協力者）として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究法と心理学実験 第2回 実験の計画立案、データ整理、統計分析とレポート作成方法 第3回 「パーソナルスペース」：実験 第4回 「パーソナルスペース」：データ整理のまとめ 第5回 「自由再生による記憶の系列位置効果」：実験 第6回 「自由再生による記憶の系列位置効果」：データ整理とまとめ 第7回 「印象形成（中心特性の働き）」：実験 第8回 「印象形成（中心特性の働き）」：データ整理とまとめ 【学生へのメッセージ】 この授業によって、実験を体験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業内容の筆記や実験データ記録のためのノート、グラフを作成する時の定規をご持参ください。 結果のまとめやレポート作成用としてノートパソコンを持参しても構いません（必携ではありません）。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヨシタケ クミコ 吉 武 久 美 子 長崎純心大学大学院教授		
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678179	授 業 概 要	【授業内容】 人間は原理的に行動すると同時に、時として矛盾した行動をとります。そして、社会現象や慣習の中には合理的ではない人間の行動によって形作られているものがあります。合理性・整合性・首尾一貫性に支えられる伝統的な経済学の盲点をついた行動経済学の姿を概観します。 【到達目標】 ・伝統的経済学の考え方と行動経済学の考え方の違いを理解できるようになる。 ・なぜ人間は時に首尾一貫しない行動をとるのかを理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 経済理論と例外（教科書第1章） 第2回 人はどんな理由から協力するようになるのか（教科書第2章） 第3回 不公平なら断ってしまえという意思（教科書第3章） 第4回 同じ職種なのになぜ給料に差が出るのか（教科書第4章） 第5回 手放すものは得るものより価値がある（教科書第6章） 第6回 金利と割引率についての損得勘定（教科書第8章） 第7回 貯蓄と消費は人間的に行われる（教科書第9章） 第8回 行動経済学が描く新たなパラダイム 【受講前の準備学習等】 ・事前に教科書を精読する必要はありませんが、各回のタイトル（教科書の各章のタイトル）から想像して、どのような話題が取り上げられるのか自分なりに想像したうえで講義に参加してください。 ・講義後、取り扱った話題を自分の身の回りの出来事に应用できないか考えてみてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 教科書を必ず携帯してください。 【教科書】 ・セイラー教授の行動経済学入門（リチャード・セイラー 著・篠原勝 訳／ダイヤモンド社／¥1,980／ISBN=9784478002636） インターネット書店の場合、もう少し安価になることがあります。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	行動経済学入門		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	60名		
担当講師	フカウラ アツユキ 深 浦 厚 之 鎮西学院大学 総合社会学部教授		
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678241		【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自分で整えられるか確認して科目登録してください。 Pythonの大きな特長の一つに豊富なライブラリがあることが挙げられます。本授業では、その1つである Turtle Graphics ライブラリを用いて、自由に絵を描くためのプログラミングを学びます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	Pythonを用いたお絵描き		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ソノダ コウタロウ 藺田 光太郎 長崎大学 総合生産科学域 (情報データ科学系)助教	授業概要	【到達目標】 Python言語を例にして一般的なプログラミング書法を身につける。 組み込みライブラリの1つであるTurtle Graphicsを通じて、コンピュータ画面上に絵を描くための論理的な手順をプログラミングに直せるようになる。 また、外部ライブラリの導入の仕方を学ぶことによって、高度なアルゴリズムに基づく創造的な絵を描けるようになる。 【授業テーマ】 第1回 Turtle Graphics の紹介 第2回 Python 開発環境の構築 第3回 Pythonプログラミング初歩 第4回 Turtle Graphics 描画（その1）：亀に絵を描かせる 第5回 Turtle Graphics 描画（その2）：プログラミングで図形を自動描画 第6回 外部ライブラリの導入：アルゴリズム描画に向けて 第7回 Turtle Graphics 描画（その3）：アルゴリズム描画 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 この授業では、Python言語のプログラミングで絵を描きます。Python言語を使いこなせなくても、授業の中で必要に応じて適宜学べるようにします。 実際にパソコン上で試すことが必須ですので、原則として「自分用パソコン」を持ち込んでください。 【受講者が当日用意するもの】 に注意してください。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室	要	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 OSはWindowsでもMacでも構いませんが、ChromeBook、タブレットPC、iPad 等ではプログラミングができませんので注意してください。 3. ソフトのインストール 授業ではPython公式サイト（ https://www.python.org ）からダウンロードしたPython 3系を使用します。授業の中でダウンロードとインストールを行って環境を揃える予定ですが、既にインストール済み場合は改めてアンインストールする必要はありません。 授業ではプログラムソースコードを作成するエディタが必要です。エディタも授業の中でダウンロード・インストールを行い環境を揃える予定ですが、既に利用しているエディタがあるのであれば改めてアンインストールする必要はありません。 4. その他 マウスを持参ください。パソコン上で絵を書きますが、ペンタブレットやタッチペンは使用できません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678187	授 業 概 要	【授業内容】 XR（クロスリアリティ）はVR（仮想現実感）、AR（拡張現実感）、MR（複合現実感）、SR（代替現実感）の総称であり、現実世界と仮想世界とを組み合わせる技術です。XRは、近年のネットワークの発展やVR機器の普及などにより身近なものになりつつあります。また、メタバースの要素技術の一つでもあります。本科目では、XRの仕組みなどを説明します。 【到達目標】 XR（VR、AR、MR、SR）およびXRの応用について理解し、説明できる。 【授業テーマ】 第1回 XR（クロスリアリティ）およびVR（仮想現実感）とは 第2回 VRの要素技術 第3回 AR（拡張現実感）とは 第4回 ARの要素技術 第5回 MR（複合現実感）およびSR（代替現実感）とは 第6回 XRの発展 第7回 XRシステムの作成 第8回 まとめと振り返り 【学生へのメッセージ】 VR、AR、MR、SRのどれかに興味のある方は受講してみてください。 【受講前の準備学習等】 VR（仮想現実感）、AR（拡張現実感）、MR（複合現実感）、SR（代替現実感）をインターネット等で調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	XR(クロスリアリティ)入門		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	60名		
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学 総合生産科学域 (情報データ科学系)准教授		
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678217	授 業 概 要	【授業内容】 社会の変化に伴い、児童生徒の現代的健康課題が多様化・複雑化しています。そこで、本科目では、まず、児童生徒の心身の発育・発達を踏まえ、現代的健康課題の現状と対応を幅広く学びます。次に、近年、児童生徒の自殺の急増が社会的な課題となっているため、特に自殺予防に焦点をあてます。身近な大人としての、自傷行為や希死念慮への適切な対応に関する知識・技術の修得を目指します。最後に、児童生徒の現代的健康課題の解決のために周囲の大人ができることについて、考察を深めます。 【到達目標】 児童生徒の現代的健康課題の現状と心身の成長・発達を踏まえ、課題解決のための適切な対応や支援について、説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 児童生徒の心身の成長・発達 第2回 児童生徒の体の現代的健康課題と対応（起立性調節障害等） 第3回 児童生徒の心の現代的健康課題と対応1（不登校、発達障害等） 第4回 児童生徒の心の現代的健康課題と対応2（うつ病等） 第5回 児童生徒の自殺に関する理論と自殺対策 第6回 児童生徒の自傷行為の理解と対応 第7回 児童生徒の自殺予防の理解と対応 第8回 総括 【学生へのメッセージ】 教育関係者、その他児童生徒にかかわる方向けの科目です。後半は児童生徒から「死にたい」と相談された時の対応に関する演習を行います。つらい記憶等のある方は、ご自身で受講可能か検討の上、選択してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、自主学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	児童生徒の 現代的健康課題と対応		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	310		
定員	30名		
担当講師	タナカ キミコ 田中 生 弥 子 活水女子大学 健康生活学部准教授		
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678144	授 業 概 要	【授業内容】 韓国・朝鮮は日本からもっとも近い国であり、その言語や文化も日本と似通っている部分が多いです。他方、韓国・朝鮮語の文字（ハングル）は日本語とは全く異なり、社会的・文化的にも日本と異なる部分も少なくないのは事実です。この授業では、言語の基本的な構造を理解し、挨拶文などの読み書きを学び、さらに韓国・朝鮮の社会や文化についても学習し理解を深めます。 【到達目標】 韓国・朝鮮語の基本的な構造を理解し、文字、単語、初歩的な挨拶文の読み書きができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ハングルの基礎を学ぼう（母音） 第2回 ハングルの基礎を学ぼう（子音） 第3回 ハングルの基礎を学ぼう（終声） 第4回 街中で見られるハングルを読んでみよう 第5回 韓国・朝鮮語で挨拶してみよう 第6回 韓国・朝鮮語で自己紹介してみよう 第7回 社会と文化について学ぼう（暦、通過儀礼、食文化） 第8回 学んだことを確認しよう（総まとめ） 【学生へのメッセージ】 韓国・朝鮮語は意外にも日本語との違いが多く、初めは戸惑ってしまう方も多いかもかもしれません。しかしその難しさを克服すると、非常に興味深い言語文化が皆さんを待っています。一緒に頑張っていきましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットなどには韓国・朝鮮語に関する多くの情報が載せられています。本授業は入門的な授業ですが、事前に学習しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	韓国・朝鮮の言語と文化		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	24名		
担当講師	シンザト ルリコ 新里 瑠璃子 九州大学 韓国研究センター学術協力研究員 /長崎外国語大学非常勤講師		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月16日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678195		【授業内容】 昨今の医療の進歩や社会・経済の発展により、100歳まで生きることが誰にとっても現実的な目標となりつつあります。長寿を享受するためには健康寿命の延伸が不可欠ですが、老化を防ぐ万能薬は存在しません。そのため、高齢者の健康について深く考えることが重要です。本講義では、長崎大学病院の8つの内科診療科の専門家が、それぞれの立場から高齢者が直面する健康課題や予防策について解説します。また、参加者とともに「高齢者が健康に生きる」とは何かを議論し、高齢社会におけるより良い生活のあり方を探求します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	健康寿命の 延長に向けて4		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名	【到達目標】 人生100年時代において、健康で豊かな人生を送るために、高齢者が直面する健康課題を正しく理解し、医学的知識を基に「高齢者が健康に生きる」とは何かを深く考えられるようになる。	【授業テーマ】 第1回 骨を守ろう！骨粗鬆症と生活習慣病（原口） 第2回 気になる皮膚病変、関節痛の原因は？ ～膠原病の早期診断のために～（住吉） 第3回 高齢者と便通異常（松島） 第4回 脳卒中と認知症の予防と早期発見・早期治療（辻野） 第5回 免疫を司る白血球たち（糸永） 第6回 地域医療の現在と未来～離島医療の現場から～（野中） 第7回 高齢者と不整脈（～心房細動とは～）（深江） 第8回 高齢者にとっての感染症～健康寿命とは何か～（有吉）
担当講師	アリヨシ コウヤ 有 吉 紅 也 長崎大学 熱帯医学研究所教授 ハラグチ アイ 原 口 愛 長崎大学病院 内分泌・代謝内科助教 スミヨシ レミ 住 吉 玲 美 長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科助教 マツシマ カヨコ 松 島 加 代 子 長崎大学病院 医療教育開発センター教授 ツジノ アキラ 辻 野 彰 長崎大学病院 脳神経内科教授 イトナガ ヒデヒロ 糸 永 英 弘 長崎大学病院 細胞療法部講師 ノナカ フミアキ 野 中 文 陽 長崎大学 生命医科学域(医学系)講師 フカエ サトキ 深 江 学 芸 長崎大学病院 循環器内科講師		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月16日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『高齢者が健康に生きるとは』です。	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
	実施会場		
	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678225	授 業 概 要	【授業内容】 はじめて長崎の歴史を学ぶ者に対し、まずは、客観的な観点から九州の西にある長崎を眺め、周辺情勢から長崎の位置、存在の意義を知り、そうして長崎の街の成り立ちから繁栄への道を訪ねます。フィールドワークではその地形的な位置づけから町の成り立ちを知り、実際に実物を見ながら長崎の存在の理由を理解します。 【到達目標】 ただ単に歴史の年号や言葉を覚えるのではなく、その事象の存在の理由を理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 長崎の街の成り立ち（ポルトガル時代） 第2回 長崎の街の成り立ち（江戸時代） 第3回 長崎の街の成り立ち（ポルトガル時代）（フィールドワーク） 第4回 長崎の街の成り立ち（江戸時代）（フィールドワーク） 第5回 長崎の民俗文化 第6回 長崎の寺社仏閣 第7回 長崎の民族文化・寺社仏閣（フィールドワーク） 第8回 長崎の寺社仏閣（フィールドワーク） 【学生へのメッセージ】 前半は室内での講義を中心に、後半はフィールドワークとして市街地を巡ります。長崎市街地はアップダウンが多く交通に気を付けて参加してください。 【受講前の準備学習等】 市街地を中心に講義を行い、また、その市街地をフィールドワークするため、事前に地図などで長崎県、長崎市の位置関係や交通機関の把握をしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 なお、レポートは鉛筆書きとし、400字詰め原稿用紙2枚程度でまとめてもらいます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	はじめての長崎学		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	310		
定員	30名		
担当講師	ヤマグチ ヒロスケ 山口 広 助 長崎総合科学大学大学院 非常勤講師		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎県立長崎図書館 郷土資料センター (長崎県長崎市立山1-1-51)		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・長崎遊学12「ヒロスケ長崎ぶらぶら歩き」(山口広助／長崎文献社／ ¥1,100／ISBN=9784888512732) 【その他(特記事項)】 入場料の係る施設に行く場合がありますので1,000円程度を携帯してください。 館内の飲食スペースには限りがありますのでご承知おきください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(面接授業開設科目一覧 (P.5参照))

科目コード	2678268	授 業 概 要	【授業内容】 数学は私たちの日常生活を豊かにしてくれます。本授業では、大学数学の基礎を易しく楽しく学習します。身近な超越数である e や π および虚数 i を話題の中心に据えて、その発見の歴史から社会における重要な役割についてお話しします。2の平方根が無理数であることの証明、ピタゴラスの定理の証明、三角関数の和の公式の導出法、三角関数と指数関数の関係、ベクトルと複素数の関係なども学習します。 【到達目標】 身の回りの自然と現代社会を正しく理解するために、大学教養レベルの数学の基本概念を理解し、数学を用いて物事を評価したり判断できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 数の歴史：自然数、整数、0、小数、有理数、無理数、実数、複素数 第2回 対数と対数関数、累乗と指数関数、常用対数と自然対数、 e の発見 第3回 微分と積分、テイラー展開とマクローリン展開 第4回 e を含む関数の微分積分 第5回 虚数単位 i の発見、複素数の計算、複素平面 第6回 複素数の極形式表示、三角関数、六十分法と弧度法、円周率 π 第7回 ド・モアブルの定理、1の n 乗根、オイラーの公式 第8回 ベクトルと複素数の関係 【学生へのメッセージ】 数学は人類の宝であり、全ての社会生活の基本です。予備知識がない人も気軽に参加ください。スマートフォンやパソコンでインターネットを活用してキーワードを事前、事後に調べてみましょう。暗記に頼らない公式の導出を考えてみましょう。 【受講前の準備学習等】 授業テーマのキーワードをインターネットや図書館等で事前に調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート、関数電卓、スマートフォン（電卓機能を使う場合があります）。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	無理数 $e \cdot \pi$ と虚数 i の世界		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	マツダ ヨシノブ 松田 良信 元長崎大学准教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678276	授 業 概 要	【授業内容】 ヒトは生きていくために、食物・飲料や嗜好品等を日常的に摂取しています。また、体調を崩したり、怪我をしたり、感染症を患ったりすると、薬を使います。この薬も過剰に摂取すれば毒として作用することはよく知られています。こうして、ヒトは色々な物質を体内に取り込んでいますが、人体の構成成分も取り込まれる物質も化学物質であると考え、薬や毒に対する人体の反応について色々なことが分かっています。本授業では、薬や毒の歴史、人体と薬や毒との相互作用などにまつわるあれこれを分かり易く紹介します。 【到達目標】 薬や毒およびそれらのヒトとの関りにおける歴史、薬や毒と人体の相互作用やその結果引き起こされる生体の応答などについて科学的な視点から理解し、説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 薬とは何か、毒とは何か 第2回 薬と薬害の歴史 第3回 毒の歴史 第4回 歴史を変えた薬 第5回 毒のメカニズム 第6回 食べ物や嗜好品の毒 第7回 自然界の毒・人工の毒 第8回 体の中で生じる毒 【学生へのメッセージ】 薬や毒、生体成分に関わる化学的な専門用語を少し用いますが、平易な解説を心がけます。授業の中で難しい点や自分なりの考えがあれば積極的に質問や意見表明して、双方向のおもしろい授業を目指します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、事前に生体に関わる基礎的な化学用語などを自己学習しておくことで、授業がより理解でき、興味深いものになるでしょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	薬と毒のサイエンス		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	クロダ ナオタカ 黒田 直敬 長崎大学名誉教授		
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678152	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では、認知症の原因となる主な病気や症状、特性、日常生活への影響について学び、認知症の人とその家族に対する支援について学んでいきます。また、認知症の人と家族を支える地域社会の在り方と認知症の具体的な予防方法についても学んでいきます。 【到達目標】 ・認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識について理解できる。 ・認知症の原因となる疾病及び段階に応じた心身の変化や心理症状を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を理解できる。 ・認知症の予防方法について理解でき行動できるようになる。 ・認知症の人の生活および家族や社会とのかかわりへの影響を理解し、その人の特性を踏まえた認知症ケアの実践について理解できる。 【授業テーマ】 第1回 認知症の医学的特徴 第2回 認知症の人の心理的特徴 第3回 認知症に伴う生活への影響と認知症の人への支援① 第4回 認知症に伴う生活への影響と認知症の人への支援② 第5回 認知症に伴う生活への影響と認知症の人への支援③ 第6回 認知症の予防について 第7回 認知症の人を介護する家族への支援 第8回 認知症の人への制度の変遷と支援対策の概要について（地域での連携と協働） 【学生へのメッセージ】 現在、日本では、高齢者の5人に1人が認知症になる可能性があると推定されています。認知症の人にとって生きやすい社会にすることは、早急に対応すべき課題であり、認知症に対する理解と知識を持つことは、国民一人ひとりに求められています。一緒に楽しく学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に自己学習に努めてください。 授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	認知症の予防とケア		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	60名		
担当講師	オオマチ イヅミ 大町 いづみ 長崎国際大学 人間社会学部教授		
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678250	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 初等中等教育におけるICT環境の過去・現在・未来について理解するとともに、「プログラミング教育」や「デジタル教科書」「デジタル表現」などについて、事例について学ぶとともに、理解を深めます。初等中等教育では、これまでICTの機器やデジタル教材が使われてきました。それは時代とともに変わってきています。これまでどのような機器が使われてきたのか、現在はどのようなICT環境なのか、今後AI時代にどうなるのか、考えていきます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	初等中等教育での AI時代の学び		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ナカガワ ヒトシ 中川 一史 放送大学教授	授 業 概 要	【到達目標】 初等中等教育におけるICT環境の過去・現在・未来について理解するとともに、「プログラミング教育」や「デジタル教科書」「デジタル表現」などについて、事例について学ぶとともに、理解を深めることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（学校教育の概説）、これまでの教育とICT①（1960-1980） 第2回 これまでの教育とICT②（1980-2000） 第3回 これまでの教育とICT③（2000-2020） 第4回 イマドキの教育とICT（1人1台端末の活用） 第5回 イマドキの教育とICT（オンライン授業、遠隔授業） 第6回 イマドキの教育とICT（プログラミング教育） 第7回 イマドキの教育とICT（デジタル教科書） 第8回 これからの教育とICT 【学生へのメッセージ】 初等中等教育におけるICT活用、学校におけるICTの歴史、ソーシャルメディア時代の子どもたちに興味のある方に受講してほしいと思います。 【受講前の準備学習等】 ・初等中等教育におけるICT活用について、Webなどで情報を得ておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。なお、接続は各自で行ってください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはmacOS。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ヘッドフォンまたはイヤホンを持参してください。 ・筆記用具を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678209	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 食物は毎日摂取するものであり、私たちが生命を維持していくためには欠くことができません。食物に含まれている栄養素は、活動するためのエネルギー源になることは勿論、様々な機能（働き）を持っているいるため、各ライフステージおよび生活スタイルによって摂取量が異なります。 そこで本講義では、日常の食事に焦点を当て、健康・栄養・ライフステージに関して学びます。
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	食生活学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	310		
定員	30名		
担当講師	オйкаワ ダイチ 及川 大地 長崎大学 人文社会科学域 （教育学系）准教授 ウエムラ モモエ 植村 百江 長崎県立大学 看護栄養学部講師		
日程実施時間	12月20日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		【到達目標】 ・毎日の食事の中で栄養素の量と取り方を把握し、健康と結び付けて活用できるようになる。 ・ライフステージに応じた栄養を把握し、活用できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 毎日の食事（及川） 第2回 食品の分類と栄養素（及川） 第3回 健康課題と食行動（植村） 第4回 食の歴史と文化（植村） 第5回 食生活と食の安全（植村） 第6回 これからの食と健康教育（植村） 第7回 ライフステージにおける食事と栄養素の役割1（及川） 第8回 ライフステージにおける食事と栄養素の役割2（及川） 【学生へのメッセージ】 授業は主にパワーポイントスライドを投影しながら説明をします。 グループで話し合う場合があります。グループ全員が話し合える環境にご協力ください。 各自で準備いただいたパソコンやスマートフォンで検索する授業回があります。 各自で準備いただいた電卓またはスマートフォンの電卓アプリで計算する授業回があります。 【受講前の準備学習等】 毎日、どのようなものを食べているのか、日常食べている食品の栄養素を少し意識してみてください。 本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ・プリントを配付するため、収納するためのファイルまたはノートをご準備ください。 ・電卓またはスマートフォンの電卓アプリのどちらかをご準備ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678233	授 業 概 要	【授業内容】 美術の基礎となるデッサンについて学習します。アカデミックな視点から、より深い理解を得るために石膏像をモチーフとした、鉛筆素描を行います。はじめに、事前課題（素描）を講評し各個人の課題をクリアにして、本講義での学習を促進させます。併せて、小下図の作成から計画性を持った作品作りを意識し、実制作へと向かいます。最後に、講評を行い、制作における到達点と課題について、それぞれ考察を行います。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席する必要があります。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	石膏デッサンを描こう		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名	授 業 概 要	【到達目標】 西洋造形で素描を行うために、基本形態の性質を理解し、現象を造形に置き換えることができるようになる。
担当講師	マキノ カズホ 牧野 一穂 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授		
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室	授 業 概 要	【授業テーマ】 第1回 事前課題の講評と石膏デッサンをするにあたっての諸注意 第2回 石膏デッサン その1（構図の検証と小下図の作成） 第3回 石膏デッサン その2（描きだし） 第4回 石膏デッサン その3（全体感と途中講評） 第5回 石膏デッサン その4（講評を踏まえた素描の続き） 第6回 石膏デッサン その5（メインとサブメインを描き分ける意識） 第7回 石膏デッサン その6（最終的な調整） 第8回 講評と考察：到達点と今後の課題
		授 業 概 要	【学生へのメッセージ】 美術の基礎となるアカデミックな鉛筆による石膏デッサンの素描を行っていただきます。受講に際しましては、受講前の準備学習等を、よく読んでください。なお、木炭による素描は行いません。
		授 業 概 要	【受講前の準備学習等】 講義はじめに作品講評を行います。スケッチブック（A4サイズ程度）に、鉛筆（木炭は不可）を用いて描いた「自分の手の素描」1点と、「水を7分目まで入れたガラスコップの素描」1点を、当日持参してください。
		授 業 概 要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		授 業 概 要	【受講者が当日用意するもの】 汚れてもよい服装、筆記用具、素描用の鉛筆（2B、3B、F、2H）各1本を事前に削ってきてください。素描用のネリゴム（書字用の消しゴムは不可）。ポケットティッシュ。手のひらサイズの鏡。事前課題の素描2点。※その他、普段、鉛筆素描に使用している道具があれば持参ください。
		授 業 概 要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		授 業 概 要	【その他（特記事項）】 当日は、木炭紙大パネルに石膏デッサンを描きます。画用紙とパネルは用意しますので、持参の必要はありません。なお、水張りではなく、クリップあるいは画鋲で止めたものを使用します。

科目コード	2678160	授 業 概 要	【授業内容】 勇気づけとは、子どもたちが人生の課題に直面したときに、その課題を解決できるという自信を持てるように援助することです。大人の子どもへの働きかけは、操作や支配ではなく、自立を支援することです。アドラー心理学では、教育、カウンセリング、心理療法の目的は、共同体感覚の育成であるとされています。共同体感覚をはぐくむための勇気づけの教育について理解を深め、子育てや教育において活用できるようになるとともに、自分自身をも勇気づけて自立した日常生活を送れるようになることを目指します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	勇気づけの心理学		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	60名		
担当講師	カク ヒデトシ 加 来 秀 俊 活水女子大学名誉教授	授 業 概 要	【到達目標】 勇気づけの基本的な原理と技法についての理解を深め、勇気づけのコミュニケーションを円滑に行うことができるようになる。
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 1月11日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【授業テーマ】 第1回 「勇気づけ」とは 第2回 アドラー心理学と「勇気づけ」 第3回 勇気づけの原理と技法 第4回 勇気づけのコミュニケーション 第5回 勇気づけの演習1 第6回 勇気づけの演習2 第7回 ほめることと「勇気づけ」の違い 第8回 「勇気づけ」の言葉 【学生へのメッセージ】 「ほめること」が教育において最上の方法だと考える人もいます。しかし、ほめることには大きな落とし穴が潜んでいることをアドラー心理学から学び、勇気づけについての理解を深めていきましょう。 【受講前の準備学習等】 「勇気づけ」とアドラー心理学との関係については、講義で解説しますが、アドラー心理学関係の書籍を読んでおくとう理解が深まると思います。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
実施会場	長崎学習センター 講義室		【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

★長崎学習センター【ライブWeb授業】実施科目(42A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4001290	【授業内容】 2011年3月の東日本大震災の際には、発電所や変電所が運転できなくなり、電気の供給が滞る事態が発生し、多くの地域で電気が不足して社会に大きな影響を与えました。また、2018年には、北海道全土にわたる広域停電が発生し、「ブラックアウト」という言葉が連日報道されました。 普段、私たちは電気があって当たり前前の生活を送っていますが、その電気はどのように作られ、運ばれ、便利に使うことができるのでしょうか？この講義では、電力システムの仕組みやこれからの社会における電気エネルギーとのつきあい方についてわかりやすく解説します。 【到達目標】 電気エネルギーシステムの仕組みと特徴を理解し、環境・エネルギー・経済の観点を踏まえた電気エネルギーシステムの将来像に関して自分の考えを説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 電気とは何だろう（山下） 第2回 私達の身近にある電気（レポート課題あり）（古里） 第3回 電気の基本を考えてみよう（古里） 第4回 電気をつくる（レポート課題あり）（古里） 第5回 電気を送る・配る（古里） 第6回 電気を貯める（レポート課題あり）（古里） 第7回 スマートに、安全・確実に電気を使う（古里） 第8回 まとめ（レポート課題あり）（山下） 【学生へのメッセージ】 実際の生活において電気を正しく安全にかつスマートに使用できるように、電気エネルギーシステムの仕組みと特徴について基礎的な知識を身に付けていただくことを望みます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。 また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 電気学会で作成された小冊子「電気の知識を深めよう」は、電子媒体を https://www.ieej.org/denki/ からダウンロード可能です。事前に目を通していただけることを推奨します。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 専用のシステム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	WK	
科目名	★電気と社会	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヤマシタ タカヒコ 山下 敬彦 放送大学 長崎学習センター所長 フルサト トモヒロ 古里 友宏 長崎大学 総合生産科学域(工学系) 准教授	
日程実施時間	11月12日(水) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月19日(水) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月10日(水) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月17日(水) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	